

所属機関長殿

## 平成 30 年度 研究助成のご案内について

拝啓 時下ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。

平素は、本財団の活動に格別なるご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ご承知の如く本財団は、研究助成事業と顕彰事業を 2 本の柱とする事業を展開しております。

さて、平成 30 年度の研究助成事業として「臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する調査並びに研究」の領域でより優れた学術研究・業績テーマに対して研究助成を行います。

早速ながら、本年度の研究助成金申請書を作成しましたのでお届けいたします。

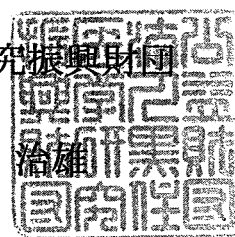
ご多忙中のところ、恐縮ではございますが貴機関の関係者にご伝達の上、平成 30 年 5 月 31 日(木、当日消印有効)までに、申請者ご自身から本財団宛申請くださいますようお願いの程、ご案内かたがたお願い申し上げます。

敬具

平成 30 年 3 月 吉日

公益財団法人 黒住医学研究振興財団

代表理事・理事長 渡邊



※公益財団法人 黒住医学研究振興財団の事務局は  
東京都台東区台東 4-19-9 山口ビル7 栄研化学株式会社内にあります。  
TEL 03-5846-3504 FAX 03-5846-3514  
URL <http://www.kmf.or.jp> E-mail: [info@kmf.or.jp](mailto:info@kmf.or.jp)

公益財団法人 黒住医学研究振興財団  
平成 30 年度 第 26 回 研究助成事業募集要項

1. 研究助成事業の対象

研究助成は、臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する調査並びに研究で、より優れた学術研究・業績を研究助成事業の対象とし、若手の育成（原則として 50 歳以下）を主眼としています。（財団ホームページ「よくあるご質問」をご参照ください。）

2. 応募資格

医学関連の大学及びその他の教育機関、研究所並びに医療機関等において、本研究助成事業の対象領域において調査、研究に積極的に取り組もうとする個人とします。

ただし、大学教授及び国公立私立研究機関の部長並びにこれらに準ずる職位の方は除きます。

3. 対象領域

- |                    |             |
|--------------------|-------------|
| ① 臨床化学             | ② 分子生物学（医学） |
| ③ 臨床微生物学           | ④ 臨床免疫学     |
| ⑤ 検査血液学            | ⑥ 人体病理学     |
| ⑦ 疫学 <sup>注1</sup> | ⑧ 一般・生理学    |

の 8 つの領域とします。

注 1：臨床検査・衛生検査についての集団(mass)を対象に扱う研究

4. 募集期間

平成 30 年 3 月 9 日（金）から平成 30 年 5 月 31 日（木）までとします。

なお、郵送の場合は当日の消印まで有効です。

5. 研究助成件数及び研究助成額

研究助成額は 1 件 100 万円を限度とし、15 件以上とします。

研究期間は、原則として 1 年間としますが、終了しない場合は中間報告として研究・会計報告書を提出していただきます。

6. 応募方法

所定の申請書に必要事項を原則としてワープロソフトにより黒インクで記入し、本財団研究助成金選考委員会 宛に送付してください。

なお、提出数は「原本と複写 2 部」の合計 3 部を送付してください。

☆財団ホームページ募集要項から Word 2013 ファイルで申請書をダウンロードすることができます。

7. 審査方法及び通知

本財団の委嘱する審査委員が 8 つの対象領域ごとに審査したあと、選考委員会で選考審査を行い、理事会で決定します。その結果は、本財団ホームページに掲載し、受贈者にその旨を通知いたします。

## 8. 研究助成金の贈呈

平成30年10月26日(金)の小島三郎記念文化賞贈呈式にあわせて、研究助成金を贈呈します。

## 9. 受贈者の研究助成金受領後の義務

本財団の研究助成金募集要項により手続きを行っていただきますが、本財団の年報発行のため、次の①、②、④の事項を研究助成金受領後(贈呈式後)、1年以内に本財団事務局へ提出していただきます。

- ① 研究結果については2,000字以内の報告書の提出
- ② 会計報告の提出
- ③ 研究結果を発表する口頭発表(記録あり)、論文発表等には本財団の研究助成を受けた旨の附記(英字表記の場合は、「KUROZUMI MEDICAL FOUNDATION」)
- ④ 継続研究の場合は中間報告書の提出

※「研究報告書」の本財団事務局への提出が確認できなかった場合は、当該研究課題について贈呈した研究助成金の贈呈決定の取り消し及び返還を求め、所属する研究機関の名称等の情報を公表する場合があります。

## 10. 申請書類の提出先

〒110-8408

東京都台東区台東4-19-9 山口ビル7 栄研化学株式会社内

公益財団法人 黒住医学研究振興財団 研究助成金選考委員会 宛

(問い合わせ先)

公益財団法人 黒住医学研究振興財団 事務局

TEL 03-5846-3504

FAX 03-5846-3514

E-mail info@kmf.or.jp

附記 ○必ず公益財団法人黒住医学研究振興財団のホームページから申請書をダウンロードしてご使用ください。(年度毎に改訂されますのでご注意ください。)

URL <http://www.kmf.or.jp/>

- 所属機関長は大学長、研究所長、病院長及びそれに相当する職域の長であること。
- 応募の書類は一切返却いたしません。

第25回研究助成金贈呈者の研究課題一覧 (平成29年度)

参考

氏名	所属	研究課題	選考対象
おおたにかつき 大谷 克城	旭川医科大学医学部 微生物学講座 准教授 医学博士	羊赤血球を使用しない新たな補体活性化測定系の開発	臨床免疫学
おおはらとしあき 大原 利章	岡山大学大学院医歯薬学 総合研究科 病理学(免疫病理) 助教 医学博士	磁性粒子ポリマーを用いた新規迅速免疫染色法の開発	人体病理学
かんだみつろう 神田 光郎	名古屋大学医学部附属病院 消化器外科二 助教 医学博士	新しい胃癌血清腫瘍マーカー開発のための国際多施設共同前向き観察研究	疫学
きょうびこ 姜 美子	東邦大学医療センター佐倉病院臨床検査部/医学研究部 臨床検査技師副技師長 医学博士	新規の脂肪ブラウニングマーカー可溶性 LR11の検査学的意義と制御機序	臨床化学
さかいゆきこ 坂井 優喜子	金沢大学附属病院検査部 臨床検査技師	全ゲノム解析を用いた <i>Clostridium difficile</i> の病原性に関する研究	臨床微生物学
ささのてつお 笹野 哲郎	東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科 生体検査科学専攻生命機能情報解析学 准教授 医学博士	標準12誘導心電図のP波 fragmentation 解析による簡便な心房細動発症リスク評価	一般・生理学
さわはたみちる 澤幡 美千瑠	自治医科大学呼吸器内科学講座 講師 医学博士	非小細胞肺癌患者の血液・気管支鏡検体を用いた INF- $\gamma$ ELISpot アッセイによる免疫チェックポイント阻害薬の効果予測研究	臨床免疫学
すずきあつお 鈴木 敦夫	名古屋大学医学部附属病院医療技術部 臨床検査部門 臨床検査技師 医療技術学博士	日本における合成基質法による血液凝固第VIII因子活性測定標準的測定法の構築	検査血液学
たかさわあきら 高澤 啓	札幌医科大学医学部病理学第二講座 助教 医学博士	質量分析イメージング法による FFPE 組織からのアミロイドーシスの新規同定技術の開発	人体病理学
なかやまひるなお 中山 寛尚	広島国際大学保健医療学部医療技術学科臨床検査学専攻 講師 医療技術学博士	軸索誘導因子を用いる新規大腸癌バイオマーカーの開発と応用	臨床化学
はしくらゆうき 橋倉 悠輝	宮崎大学医学部附属病院検査部 臨床検査技師 医学博士	HTLV-1欠損プロウイルスの網羅的検出法の開発および感染メカニズムの解明	臨床微生物学
まつおひでまさ 松尾 英将	京都大学医学部附属病院検査部 臨床検査技師	正常核型急性骨髄性白血病における新規予後因子探索	分子生物学
やなぎさわりゅう 柳沢 龍	信州大学医学部附属病院輸血部 准教授 先端細胞治療センター副センター長 医学博士	難治性川崎病に対する治療層別化実施体制に向けた末梢血血液像応用の検証	検査血液学
やまざわかずき 山澤 一樹	東京医療センター臨床遺伝センター/小児科医員 医学博士	DOHaD 説に立脚した不当軽量(SGA)児メチル化解析による生活習慣病バイオマーカーの開発	分子生物学
やまだかげと 山田 景土	公財) 東京都保健医療公社 豊島病院 検査科 臨床検査技師	食中毒患者由来カンピロバクターの抗菌薬 MIC 年次推移と薬剤耐性株の分子疫学および耐性機構に関する研究	臨床微生物学

総申請者 239名  
研究助成金総額 1,500万円(15名)